

## あなたの家のブロック塀 大丈夫ですか？

町では、通学路などに面した危険な状態のブロック塀を対象に、学童や通行する人の安全を確保するため、危険と判断されたブロック塀の除却に対して補助を実施しています。

- 対象ブロック塀 調査の結果、「要改善」または「緊急改善」の判定を受けたブロック塀
- 補助額 除却工事費の2/3（最大15万円）  
要件を満たす場合には、補助金を上乗せできる場合があります。
- ※必ず事前に相談してください。事前調査が必要です。
- 申請期間 令和5年1月31日(火)まで

☎ 建設課宮繕係 ☎46-1377



## 令和4年春の叙勲

昭和45年に志津川町消防団に入団し、以来37年の長きにわたり率先してその職務を遂行されました。平成15年から志津川町消防団分団長を務め、合併後の平成19年に退団されるまで、町の消防力の強化と災害防除に寄与されました。

瑞宝単光章



阿部 健一さん 向日

## 地域の防災力を高めましょう！

大規模な自然災害が多発している近年、48の行政区で自主防災組織が設立され、地域の防災力向上に対する気運の醸成が高まってきました。町には、地域の皆さんが非常時において、お互いに協力し、自ら積極的に防災活動ができるよう2つの補助制度があります。更なる防災力の向上を図るため、ご活用ください。

### 1 自主防災組織に対する補助

①自主防災組織を新たに設立した場合の防災資機材の購入費用

区分	補助額
50世帯未満	200,000円
50世帯以上100世帯未満	250,000円
100世帯以上150世帯未満	300,000円
150世帯以上	350,000円

※1団体につき、1回限りとなります。

②自主防災活動の実施に要する費用

補助額	内容
20,000円または活動費の2分の1の額のいずれか低い額	防災・減災に係る啓発活動費、防災訓練に係る経費など

③防災資機材の更新、修繕などに要する費用

補助額	内容
50,000円または事業費の3分の2の額のいずれか低い額	LEDライト、ヘルメット、防災資機材等収納棚、石油ストーブなど



### 2 「防災士」の資格取得費用に対する補助

防災士とは？

社会のさまざまな場で防災力を高める活動をし、そのために十分な意識・知識・技能を習得したことを日本防災士機構が認証した人です。

防災士になったら

防災士の役割は、大きく2つに分かれます。

平常時	地域防災の担い手として、家庭や職場などにおける非常時への備えを積極的に推進するほか、町が主催する防災訓練その他町が実施する安全・安心なまちづくりへの参加・協力を行う。
災害時	自らの安全は自らが守る意識を基本とし、その場その場での防災リーダーとして、避難誘導、初期消火、町への被害状況の報告などを行う。



補助金額

1人につき61,900円または実際の資格取得費用のいずれか低い額。

※補助金の交付は、試験の可否にかかわらず、1人につき1回限りとなります。

補助の対象となる費用

1 研修講座の受講料 2 試験の受験料 3 教本代 4 資格認証の登録料



「南三陸町防災士育成事業費補助金」を活用して防災士の資格を取得した石井洋子さんに資格を取得したきっかけや今後の展望などをお聞きました。

石井さんは、地球環境問題に関して様々な取り組みをされている人で、宮城県地球温暖化防止活動推進委員や宮城県環境教育リーダーとして、また、南三陸町ネイチャーセンター友の会にも所属しています。気象庁での勤務や南極観測隊としての経験を生かして、気象や防災などについての講演のほか、ロケットストーブ（薪ストーブ）を活用したワークショップを行っています。



Q1 なぜ防災士の資格を取得しようと思われましたか。

東日本大震災後にボランティアとして南三陸町を訪れた際に、南三陸町の自然の素晴らしさに感心を持ちました。この豊かな自然を次の世代に残していくため町の防災・減災の取組に貢献したいと思い、資格を取得しようと思いました。

Q2 防災士の資格を取得して得たことを、どのように地域などでの活動に役立てようとしていますか。

防災士になって日が浅いためどのような活動をすればいいかまだ分かっていませんが、自分の得意分野（気象に関する知識など）を生かして活動できればと思っています。また、地域の集まりなどで防災について積極的に話し合いを持ちたいと考えています。コミュニケーションをとることで、自分自身も学ぶことがたくさんあるからです。

Q3 現在、実際に取り組まれていることがありましたらご紹介ください。

5月から毎月第4日曜日に生涯学習センターを会場とし、天気・気候・防災に関する講座をしています。

Q4 今後の目標をお聞かせください。

様々な活動を通して町の防災・減災対策の力となり、自然豊かな南三陸町が継続するよう、共助と公助の間をつなぐ役割を担えればと思っています。

そのためにも、この補助制度を活用して防災士の資格を取得する人が増え、地域同士のネットワークができればいいと思います。

☎ 総務課危機対策係 ☎46-1376